

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生体代行技術学	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	中野 広基 ※
授 業 概 要					
臨床工学技士として業務に重要な代行装置学及び関連する生体材料について理解する。					
到 達 目 標					
1) 各種医用材料の種類と特性について説明できる。 2) 各種医用材料の安全性について説明できる。 3) 各種医用材料の生体適合性について説明できる。 4) 生体代行装置の患者への適用方法が説明できる。 5) 生体代行装置に関わる機器の構造と特性が説明できる。 6) 生体代行装置に関わる機器を安全に扱うことができる。					
実務経験のある教員					
野口 裕幸 外山 竹弥 中野 広基：病院での臨床経験を踏まえ、生体代行装置について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	代謝代行(1)				外山 竹弥 ※
2	代謝代行(2)				〃
3	代謝代行(3)				〃
4	代謝代行(4)				〃
5	代謝代行(5)				〃
6	体外循環(1)				中野 広基 ※
7	体外循環(2)				〃
8	体外循環(3)				〃
9	体外循環(4)				〃
10	体外循環(5)				〃
11	呼吸代行(1)				野口 裕幸 ※
12	呼吸代行(2)				〃
13	呼吸代行(3)				〃
14	呼吸代行(4)				〃
15	呼吸代行(5)				〃
学 習 方 法					
臨床工学技士の業務に必要な不可欠な専門領域の総括となる。復習を行い、しっかりと理解すること。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
臨床工学技士標準テキスト 第4版		小野哲章 他		金原出版	
MEの基礎知識と安全管理 改訂第8版		日本生体医工学会		南江堂	
配布資料					